



Shonan Health Innovation Park

# 環境保全協定に基づく連絡会

2019年 6月 22日

武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパーク

# 本日の議題



- (1) 平成30年度 環境測定結果報告
- (2) 「環境モニター」推薦依頼
- (3) 湘南ヘルスイノベーションパークの近況について
- (4) 地域貢献活動

# (1) 平成30年度 環境測定結果報告



## はじめに

- おかげさまで湘南ヘルスイノベーションパーク(略称:湘南アイパーク)はオープンからこの4月で1周年を迎えました。湘南アイパークの入居企業・団体(テナント)は当初の2倍以上の42に増えました。
- 湘南アイパークは武田薬品が責任を持って管理し、武田薬品の社員だけでなくテナントに湘南アイパークの環境保全等の各種ルールを教育するとともに、入居時の契約内容に環境保全協定の遵守を盛り込んでいます。今後も継続いたします。

環境保全協定に基づいた環境測定の実施スケジュール

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
排水(1回/月)	■											
排気(2回/年)						■						■
騒音(4回/年)		■			■			■			■	
振動(4回/年)		■			■			■			■	
臭気(1回/年)					■							

# (1)-1 排水



測定項目	単位	法令基準	管理目標 (協定)	測定頻度 (協定)	測定値 (最小値)	測定値 (最大値)
水温	℃	45	40	常時	17.1	33.4
水素イオン濃度(pH)		5~9	5.8~8.6	〃	6.4	8.2
全有機炭素(TOC)	mgC/L	-	250	〃	1	88
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	600	300	1回/月	1.3	59
浮遊物質(SS)	mg/L	600	300	〃	2	86
ルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)	mg/L	5	2.5	〃	<1	<1
ルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量)	mg/L	30	15	〃	<1	7
沃素消費量	mg/L	220	110	〃	1	22
フェノール類	mg/L	0.5	0.25	〃	<0.005	0.026
銅及びその化合物	mg/L	1	0.5	〃	0.01	0.18
亜鉛及びその化合物	mg/L	1	0.5	〃	0.01	0.38
鉄及びその化合物(溶解性)	mg/L	3	1.5	〃	<0.01	0.22
マンガン及びその化合物(溶解性)	mg/L	1	0.5	〃	<0.01	0.01
クロム及びその化合物	mg/L	2	1	〃	<0.02	0.02
ニッケル含有量	mg/L	1	0.5	〃	<0.01	0.03
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.03	0.015	〃	<0.002	<0.002
シアン化合物	mg/L	1	0.5	〃	<0.02	<0.02
有機燐化合物	mg/L	0.2	0.1	〃	<0.01	<0.01
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	0.05	〃	<0.01	<0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.5	0.25	〃	<0.02	<0.02
砒素及びその化合物	mg/L	0.1	0.05	〃	<0.002	<0.002

※ TOCの年間平均値=12.9 (mgC/L)

# (1)-1 排水



測定項目	単位	法令基準	管理目標 (協定)	測定頻度 (協定)	測定値 (最小値)	測定値 (最大値)
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L	0.005	0.0025	1回/月	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	mg/L	検出されないこと	検出されないこと	〃	検出されず	検出されず
ホリ塩化ビフェニル	mg/L	0.003	0.0015	〃	<0.0005	<0.0005
トリクロエチレン	mg/L	0.1	0.05	〃	<0.001	<0.001
テトラクロエチレン	mg/L	0.1	0.05	〃	<0.001	<0.001
シクロメタン	mg/L	0.2	0.1	〃	<0.01	<0.01
四塩化炭素	mg/L	0.02	0.01	〃	<0.001	<0.001
1,2-シクロエタン	mg/L	0.04	0.02	〃	<0.002	<0.002
1,1-シクロエチレン	mg/L	1	0.5	〃	<0.01	<0.01
シス-1,2-シクロエチレン	mg/L	0.4	0.2	〃	<0.02	<0.02
1,1,1-トリクロエタン	mg/L	3	1.5	〃	<0.001	<0.001
1,1,2-トリクロエタン	mg/L	0.06	0.03	〃	<0.003	<0.003
1,3-シクロプロパン	mg/L	0.02	0.01	〃	<0.001	<0.001
チウラム	mg/L	0.06	0.03	〃	<0.006	<0.006
シマジン	mg/L	0.03	0.015	〃	<0.002	<0.002
チオベンカルブ	mg/L	0.2	0.1	〃	<0.01	<0.01
ベンゼン	mg/L	0.1	0.05	〃	<0.005	<0.005
1,4-ジオキサン	mg/L	0.5	0.25	〃	<0.05	<0.05
セレン及びその化合物	mg/L	0.1	0.05	〃	<0.001	<0.001
ほう素及びその化合物	mg/L	10	5	〃	<0.1	<0.1
ふっ素及びその化合物	mg/L	8	4	〃	<0.08	1.2
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量	mg/L	380	190	〃	0.8	18
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	10	5	1回/年	0.0013	0.0013

排水測定の結果、すべて管理目標値以下でした。

# (1)-2 排 気 (大気排出)



## ガスエンジン

施設名	測定項目							
	ばいじん(g/m <sup>3</sup> N)				窒素酸化物(ppm)			
	(酸素濃度11.5%)				(酸素濃度11.5%)			
	法令基準	管理目標	測定値		法令基準	管理目標	測定値	
9月26日			3月26, 29日	9月26日			3月26, 29日	
ガスエンジンNo.1	0.11	0.04	<0.0004	0.0005	90.4	18	9	8
ガスエンジンNo.2	0.11	0.04	<0.0004	<0.0004	90.4	18	8	9
ガスエンジンNo.3	0.11	0.04	0.0005	<0.0004	90.4	18	8	9
ガスエンジンNo.4	0.11	0.04	<0.0004	0.0012	90.4	18	8	9

排気測定の結果、すべて管理目標値以下でした。

# (1)-2 排 気 (大気排出)

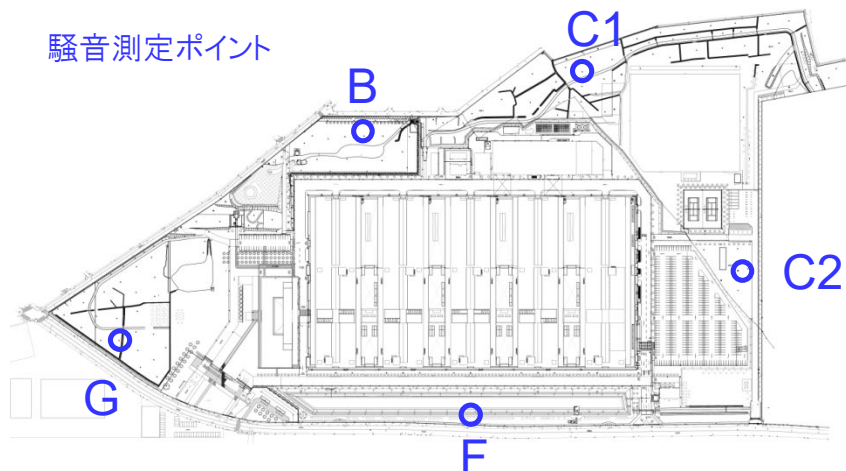


## ボイラー

施設名	測定項目							
	ばいじん (g/m <sup>3</sup> N) (酸素濃度 5%)				窒素酸化物 (ppm) (酸素濃度5%)			
	法令基準	管理目標	測定値		法令基準	管理目標	測定値	
			9月25日 ～28日	3月27日 ～29日			9月21日 ～25日	3月25日 ～28日
ボイラーNo. 1	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	15	23□
ボイラーNo. 2	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	17	21□
ボイラーNo. 3	0.3	0.05	<0.0004	0.0006	45.7	30.5	18	21□
ボイラーNo. 4	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	17	21□
ボイラーNo. 5	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	18	20□
ボイラーNo. 6	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	19	23□
ボイラーNo. 7	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	19	22□
ボイラーNo. 8	0.3	0.05	0.0005	<0.0004	45.7	30.5	20	24□
ボイラーNo. 9	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	18	26□
ボイラーNo. 10	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	18	20□
ボイラーNo. 11	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	18	23□
ボイラーNo. 12	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	19	22□
ボイラーNo. 13	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	16	18□
ボイラーNo. 14	0.3	0.05	<0.0004	0.0007	45.7	30.5	18	21□
ボイラーNo. 15	0.3	0.05	<0.0004	0.0013	45.7	30.5	19	22□
ボイラーNo. 16	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	20	22□
ボイラーNo. 17	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	22	24□
ボイラーNo. 18	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	22	23□
ボイラーNo. 19	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	20	22□
ボイラーNo. 20	0.3	0.05	0.0005	<0.0004	45.7	30.5	20	24□
ボイラーNo. 21	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	14	23□
ボイラーNo. 22	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	19	20□
ボイラーNo. 23	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	20	24□
ボイラーNo. 24	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	18	23□
ボイラーNo. 25	0.3	0.05	<0.0004	0.0004	45.7	30.5	19	17□
ボイラーNo. 26	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	17	19□
ボイラーNo. 27	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	17	18□
ボイラーNo. 28	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	19	19□
ボイラーNo. 29	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	18	22□
ボイラーNo. 30	0.3	0.05	<0.0004	<0.0004	45.7	30.5	17	20□

排気測定の結果、すべて管理目標値以下でした。

# (1)-3 騒音

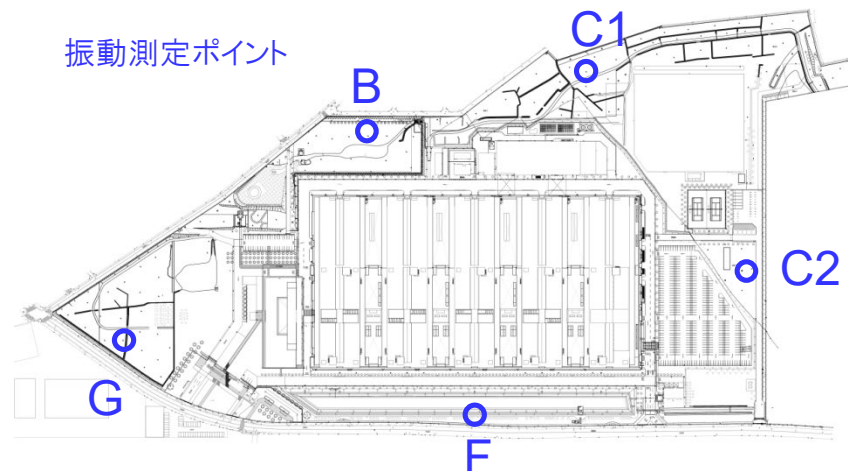


測定地点	管理目標 (法令基準)				騒音レベルLA05(dB)															
	朝	昼	夕	夜	朝				昼				夕				夜			
					5月29日	8月28日	11月28日	2月26日	5月28日	8月27日	11月27日	2月25日	5月28日	8月27日	11月27日	2月25日	5/28~29	8/27~28	11/27~28	2/25~26
B	60 (60)	62.5 (62.5)	60 (60)	52.5 (52.5)	50	48	51	49	51	52	51	49	48	55	44	46	46	50	45	45
C1	60 (65)	62.5 (70)	60 (65)	52.5 (55)	45	54	49	46	46	48	49	52	47	57	44	43	45	52	43	44
C2	60 (65)	62.5 (70)	60 (65)	52.5 (55)	48	54	53	48	47	53	51	54	45	51	46	45	42	44	41	46
F	75 (75)	75 (75)	75 (75)	65 (65)	59	60	65	65	62	63	65	62	60	61	64	61	59	59	59	58
G	67.5 (67.5)	70 (70)	67.5 (67.5)	57.5 (57.5)	60	60	62	60	60	59	62	61	58	60	60	60	55	54	50	45

騒音測定の結果、すべて管理目標値以下でした。



# (1)-4 振 動

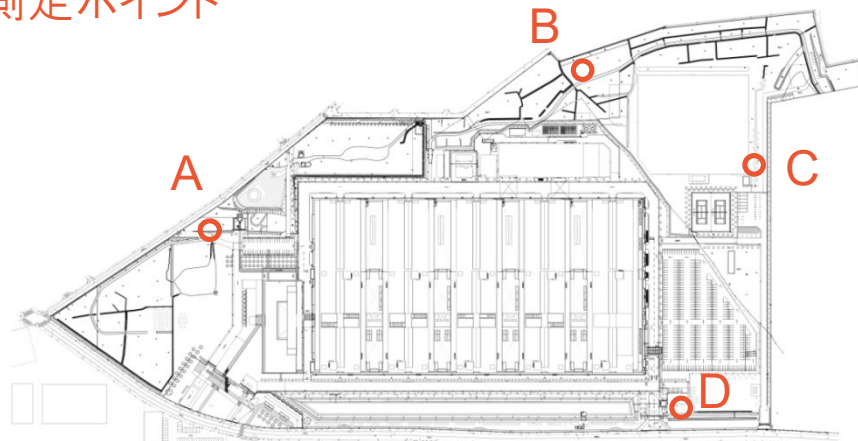


測定地点	管理目標 (法令基準)		振動レベルL10(dB)								
	昼	夜	昼				夜				
			5月28日	8月27日	11月27日	2月25日	5/28~29	8/27~28	11/27~28	2/25~26	
B	65 (65)	60 (60)	<30	<30	<30	<30	<30	<30	<30	<30	<30
C1	65 (70)	60 (60)	<30	<30	<30	31	<30	<30	<30	<30	<30
C2	65 (70)	60 (60)	<30	33	<30	31	<30	<30	<30	<30	<30
F	70 (70)	65 (65)	35	36	38	35	<30	<30	<30	<30	31
G	65 (65)	60 (60)	36	31	37	36	<30	<30	<30	<30	<30

振動測定の結果、すべて管理目標値以下でした。

# (1)-5 臭 気

## 臭気測定ポイント

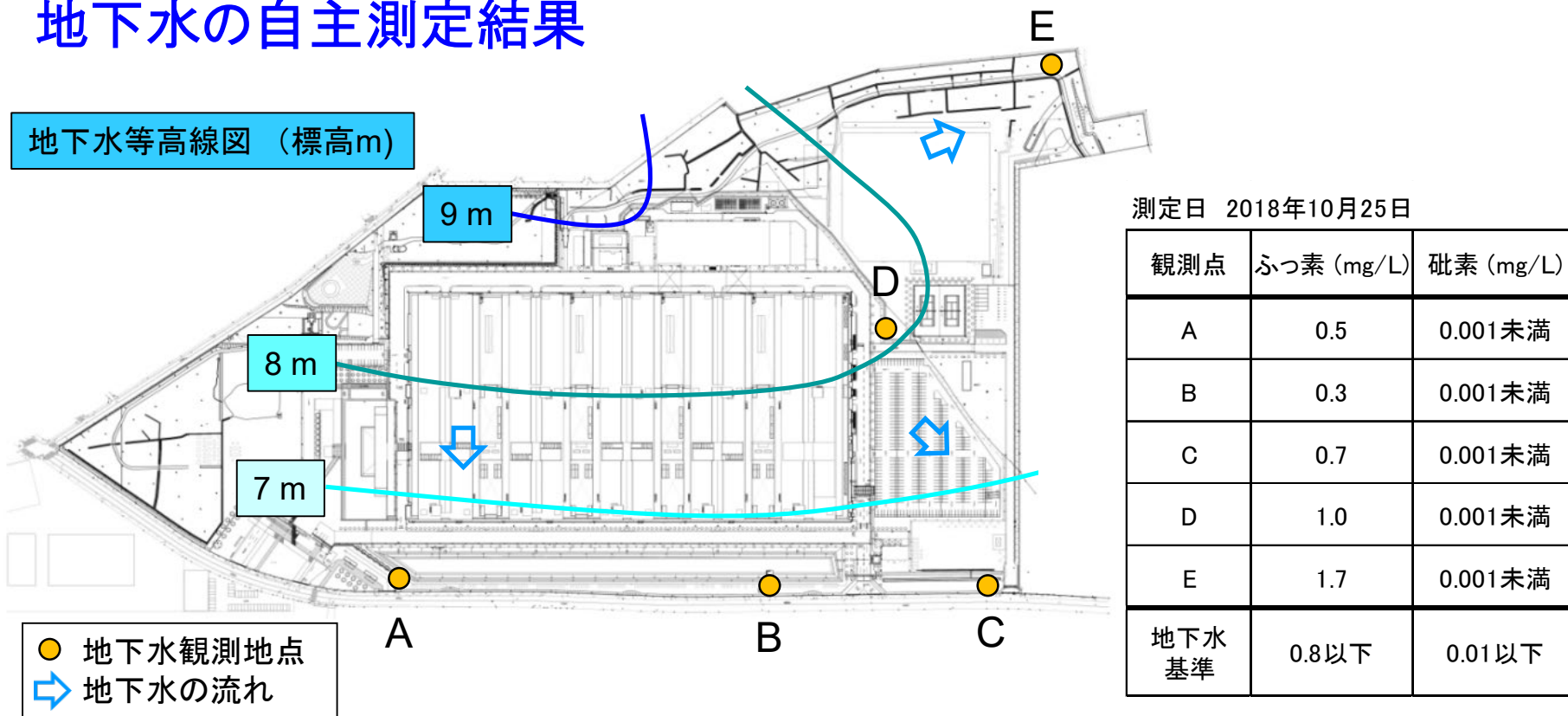


測定地点	法令基準	管理目標	臭気指数
			8月28日
A	15	10	<10
B	15	10	<10
C	15	10	<10
D	15	10	<10

臭気測定の結果、すべて管理目標値以下でした。

# (1)-6 地下水

## 地下水の自主測定結果



地下水の流れの下流に位置するA～Eにて測定を実施した結果、砒素は検出されませんでした。ふっ素は2地点で基準値超過が見られましたが、研究所建設時の環境アセスメントでの測定値から大きな変化はなく、環境アセスメントでは自然由来(推定)と結論されています。今後も定期的に分析を実施してまいります。

# (1)-7 環境保全への取り組み

下記の湘南アイパークの環境保全施策にテナントも参加していただいています。

- 神奈川県条例(生活環境の保全等に関する条例、事業活動温暖化対策推進条例)に従い湘南アイパーク全体で化学物質管理と温暖化対策に取り組んでいます。
- 冷蔵庫、冷凍庫などのフロンを使用している機器は、フロン排出抑制法に従い定期的な点検を実施して機器の故障によるフロンの大気への漏れを防止しています。また、廃棄する際には機器内のフロンを回収し分解処理を行っています。
- 廃棄物の分別に徹底して取り組んでおり、廃棄物は法律にのっとり適正に処理しています。また、廃棄物の排出量削減に取り組んでいます。

## (2) 環境モニター推薦依頼



- 目的：  
弊社と皆様とのコミュニケーションの一環として、  
湘南アイパークに関するご意見をお伺いします。
  - 環境モニター員：  
各町内会より1名選出して下さるようお願いいたします。
  - モニター員にお願いすること：  
年1回のアンケートをお願いします。  
年1回の会合でご意見をお伺いします。
- ◆ 2018年12月8日に環境モニター会議を開催し、アンケートの集計結果をモニターの方に報告させていただきました。  
その時の資料を添付します。

# (3)-1 湘南ヘルスイノベーションパークの近況

- 2018年10月 パシフィコ横浜で開催されたBio Japanにおいて湘南アイパークの中長期戦略を発表しました。




















「革新的なアイデアを持つ世界中のバイオベンチャーやアカデミアが湘南アイパークに集まり、そのアイデアが患者さんに届く形に実用化されるよう、湘南アイパークは世界に開かれたライフサイエンスエコシステムの構築を今後も目指していきます。」

<https://www.shonan-health-innovation-park.com/siteassets/pdfs/news/181010press-release-strategy.pdf>



# (3)-2 1年前の開所式の時点では、19社の入居



製薬企業	
創薬	        
創薬支援	     
次世代医療	 
研究機器 / 医療機器	
AI/IoT/ ロボティクス	
ビジネスサポート	

### (3)-2 1年が経過し、アカデミア、Start-upから大企業まで 多様な技術をもつ42社が集積し活動し始めた



製薬企業	
創薬	
創薬支援	
次世代医療	
研究機器 / 医療機器	
AI/IoT/ロボティクス	
ビジネスサポート	

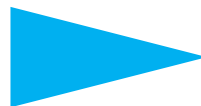


# (3)-3 バス停の名称変更等について



## 「武田薬品前」 → 「湘南アイパーク」

- 湘南アイパークは、武田薬品だけでなく多くの医療・ヘルスケア関連のテナントにとって、多彩な研究・ビジネスの場となっています。
- そうした中で、2019年4月1日より、当パーク前のバス停(江ノ電バス)の名称が「武田薬品前」から「湘南アイパーク」へと変更されました。



### (3)-4 神奈川県・藤沢市・鎌倉市・ 湘南鎌倉総合病院・湘南アイパークの5者による覚書を締結



## 村岡・深沢地区のヘルスイノベーション最先端拠点形成を推進へ

武田薬品工業株式会社（湘南ヘルスイノベーションパーク）と神奈川県、藤沢市、鎌倉市、湘南鎌倉総合病院（以下「5者」）は、村岡・深沢地区のヘルスイノベーション最先端拠点形成等に係る連携・協力に関する覚書を、5月15日に締結しました。

この覚書は、5者が連携・協力して村岡・深沢地区において、ヘルスイノベーションの最先端拠点形成等を推進することにより、誰もが健康かつ安全に、生き生きと誇りを持って暮らすことができる、持続可能な地域社会のリーディングエリアの構築を図るとともに、健康寿命の延伸やヘルスケア分野の産業創出を図ることについて研究を進めることを目的としています。

本覚書を締結によって、5者はこれまで築き上げてきた人的、知的、物的資源を相互に活用し、次に掲げる事項につき、連携・協力して研究を進めます。

- (1) ヘルスイノベーションの最先端拠点形成
- (2) 地域住民の心と体の健康増進、クオリティオブライフの向上
- (3) 健康寿命の延伸やヘルスケア分野の産業創出
- (4) その他、本覚書の目的を達成するために必要な事項



# (3)-5 西側緑地の週末開放



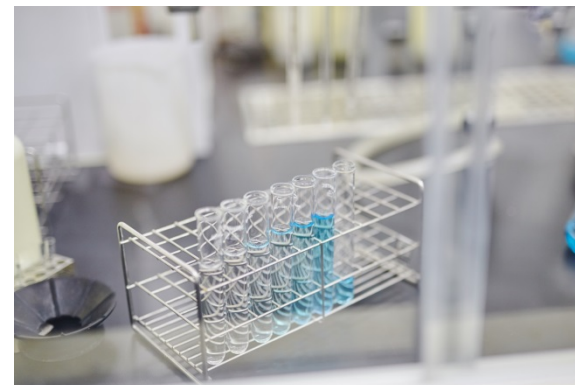
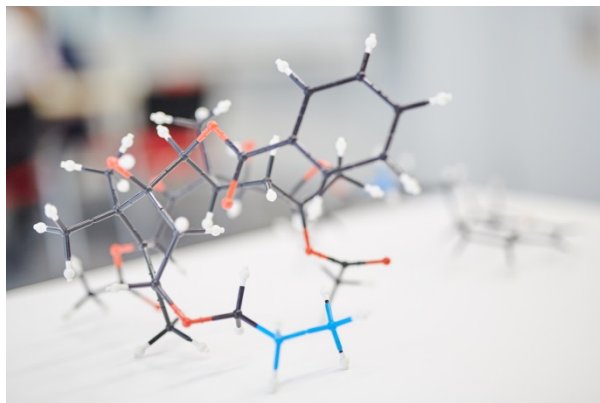
2018年8月25日(土)より研究棟西側部分の敷地を毎週土日・祝日に開放しています。開放時間は10～16時です。休日の散策に、お子様のかけっこに、ご近所同士の交流に… ささやかですが、豊かな緑、開放的な空間を、お楽しみください。



## (3)-6 夏休み・春休み親子科学教室



2018年7月27日(金)、近隣の小学生を招き親子科学教室を開催しました。参加者数は親子合計で、午前の部63名、午後の部62名と大盛況でした。館内ツアー、実験体験、成績表・修了証授与など約2時間の盛りだくさんの内容で、皆さんワイワイガヤガヤと楽しそうに夏休みの一日を過ごしました。また春休み中の2019年3月29日(木)にも、親子科学教室を実施し、33名が参加しました。



今後も湘南アイパークが地域に浸透するために更に多くのイベントを企画しています。

# (4)-1 地域貢献活動



## ① ボランティア清掃

弊社と湘南アイパーク入居会社の従業員により、敷地外周について「ボランティア清掃」を行っています。参加予定人数は、毎回100名前後です。

実施日 (2019年)		備考
第1回 (実施済)	5月22日 (水) 夕方	藤沢市ゴミゼロクリーンキャンペーン (5月26日)
第2回	8月7日 (水) 夕方	村岡地区夏季1日清掃デー (8月18日)
第3回	10月9日 (水) 朝	藤沢1日清掃デー (11月17日)
第4回	12月4日 (水) 朝	村岡地区冬期1日清掃デー (12月15日)



5月22日ボランティア清掃の様子

## ② 秋祭り

2018年9月27日(木)に秋祭りを敷地内のグラウンドにて開催し、約3400名の皆様にご来場いただきました。

プロによるダブルダッチ(縄を二本使う縄跳び)実演や模擬店等を楽しんでいただきました。



9月27日秋祭りの様子

## (4)-2 地域貢献活動



### ③ 「桜と新緑を楽しむ散策」

2019年3月24日(日)に開催した「桜と新緑を楽しむ散策」には、約1500名の近隣の皆様方にお越しいただきました。  
桜の開花は今一つでしたが、好天に恵まれ、研究所内の散策を楽しんでいただくことができました。

